

第 89 回 番組審議会 議事録

開催日時：平成 28 年 1 月に郵送にて開催

1) 出席委員（総数 7 名・出席数 6 名・欠席 1 名）

小島香代子／塚田知宏／山田浩昭／田中健作／塚本明子／弓場美奈／

2) 審議番組の内容

番組タイトル 『ひっくりカイル英会話』

パーソナリティ カイル・デイゼンブルク

放送日時 2016 年 12 月 10 日（土）16:15～16:30

番組概要

アメリカ出身のカイル・デイゼンブルクが先生役、モミアゲラジオのパーソナリティ・もとカズ、美由を生徒に見立てて、日本でよく使われている変な英語を取り上げ、おもしろおかしく正しい英語を紹介していくバラエティ・カルチャープログラム。

3) 審議の内容

【小島委員】

- ・番組としてはすごく面白くて、三人のトークの組み合わせが良かった。
- ・カイルさんも性格が明るくて気持ち良く、声も発音も良い。
- ・欲を言えばカイルさんにクリスマスに何が欲しいと聞かれた時にパーソナリティ 2 人が即座に反応できるよう訓練を積んで欲しい。
- ・外国人の物の見方は意外性があるって普段日本人には当たり前の事を違った視点から取り上げたり、本当はどういう意味なの？とか話題にしてくれるので面白いと思う。

【塚田委員】

- ・パーソナリティ（もとカズさん、美由さん）の崩し方（ボケ方）をもう少し抑えた方が番組として聞きやすいと感じた。
- ・英会話の内容の選定がもう少し充実していると良いと思う。普通の会話で使えるセンテンスの方が良いと思う。
- ・企画は良いと思いますが、15 分の番組が終わった後に楽しさと勉強になったという満足感が残るような番組にして欲しい。

【山田委員】

- ・先生のカイルさんと、生徒のもとカズさん・美由さんとの掛け合いがとてもおもしろくて、15分があっという間だった。
- ・3人のおしゃべり⇒レッスン⇒振り返りのクイズという構成はとても良かった。
- ・タイトルからもう少し固い番組かと思いましたが、堅苦しさは全くなく、外来語と言ったなじみのある言葉を題材にしたおしゃべりは大変興味をもてました。
- ・英語をネタにして皆でワイワイしゃべっているだけという意見があるかもしれませんが、自分としてはとても楽しく聞けました。
- ・みよしコミュニティニュース同様、モミアゲラジオの1つのコーナー的な番組として、長時間の中のアクセントにもなっていた。

【田中委員】

- ・全体的に面白い内容だった。
- ・言い間違いやすそうな単語を、ポイントを絞って紹介していて、分かりやすく印象にも残りやすかった。
- ・復習テストがあってよかった。
- ・英会話としては、もう少し難易度の高い内容が1つあっても良いと思う。

【塚本委員】

- ・オープニングの前フリトークは直近の話題で構成され良いと思った。
- ・「おもしろおかしく正しい英語を～」というねらいに対しては雰囲気もあり、よく出ているとは感じた。
- ・パーソナリティ、カイルの落ち着いたトーンに対して、もとカズさんのトーンのボリュームが大きく、またかぶっているような時も感じ、ややもするとメインパーソナリティ、カイルさんの存在を薄く感じさせたように思う。
- ・もとカズさんのキャラクターは良いと思うが、「ねらい」を求めるあまり少しオーバーアクションになったきらいがあるように感じた。
- ・レッスンの外来語については身近な単語で興味を持てて良かった。

【弓場委員】

- ・ 今回の放送で感じたことは、英会話というタイトルなので、少し期待していましたが、日本語が多く、また中途半端な英会話でふざけている部分が多かった印象が強く、がっかりした。
- ・ 2019年のラグビーワールドカップに向け、英語での挨拶の仕方や、道を聞かれた時にはこんな感じで答えるだとか、とにかく役に立つ英語を2~3つつづつでもいいので真剣に教えていただける番組を期待します。

以上